

2023 年度通常総会



日時： 2023 年 4 月 28 日

場所： 中央大学とオンライン会議のハイブリット開催

議事：

第 1 号議案 「2022 年度事業報告」の件

第 2 号議案 「2022 年度決算報告および監査報告」の件

第 3 号議案 「2023-2024 年度新役員承認」の件

第 4 号議案 定款改訂の件

報告： 1 2023 年度事業計画

2 2023 年度収支予算

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

公益社団法人
日本オペレーションズ・リサーチ学会

2022年度 事業報告書

事業番号： 公1（1本のみ）
事業の内容： オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

(1) 春季研究発表会

- ・3月17日、18日、オンライン開催
- ・実行委員長：杉山 学（群馬大学）
- ・発表件数117件、参加人数335名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演：
「私の数理工学」
来嶋 秀治 氏（九州大学）
- ・公開座談会 ～OR研究の現在と未来～
腰塚 武志 氏（筑波大学 名誉教授）
原田 耕平 氏（NTT データ数理システム）
井上 文彰 氏（大阪大学）
五十嵐 歩美 氏（国立情報学研究所）
田辺 広樹 氏（京都大学）
司会：永野 清仁（群馬大学）

(2) 秋季研究発表会

- ・9月13日、14日、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター（ハイブリット開催）
- ・実行委員長：田中 環（新潟大学）
- ・発表件数109件、参加人数345名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演1：
「ヨネックススノーボードの参入からメダリスト誕生までの経過」
小林 和夫 氏（ヨネックス株式会社）
- ・特別講演2：
「スノーボードにおいてハイパフォーマンスを実現する組織マネジメント」
藤田 美幸 氏（新潟国際情報大学）
- ・特別講演3：
「スポーツ DX時代の情報戦略と意思決定」

渡辺啓太 氏（日本スポーツアナリスト協会代表理事，國學院大學准教授）

2. シンポジウム

(1) 春季シンポジウム

- ・3月16日，オンライン開催
- ・実行委員長：関 庸一（群馬大学）
- ・テーマ 「Society5.0の基盤とOR：新たな人間中心社会に向けて」
- ・講演5件：予稿集発行

(2) 秋季シンポジウム

- ・9月12日，朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 対面開催（オンライン配信あり）
- ・実行委員長：鈴木 賢一（東北大学）
- ・テーマ 「機構変動の社会的影響」
- ・講演5件：予稿集発行

3. ORセミナー

(1) 第1回「メタヒューリスティクスの設計と実装」

- ・6月1日，現地とオンラインのハイブリット開催
- ・コーディネーター：野本多津（株式会社日立製作所）
- ・司会：梅谷 俊治（大阪大学）
- ・講師：今堀 慎治（中央大学）、梅谷 俊治（大阪大学）、野々部 宏司（法政大学）
- ・参加者162名

(2) 第2回「Pythonではじめる数理最適化

～ケーススタディでモデリングのスキルを身につけよう～

- ・10月15日，オンライン開催
- ・オーガナイザ：岩永二郎（株式会社エルデシュ）
- ・コーディネーター：山田裕通（株式会社構造計画研究所）
- ・講師：岩永二郎（株式会社エルデシュ）、田中一樹（株式会社ディー・エヌ・エー）
西村直樹（株式会社リクルート）、石原響太（ALGORITHMIC NITROUS 株式会社）
- ・参加者109名

(3) 第3回「機械学習を用いた実ビジネスでの意思決定」

- ・2022年1月29日，オンライン開催
- ・コーディネーター：永井秀稔（日鉄ソリューションズ株式会社）
- ・司会：中田和秀（東京工業大学）
- ・講師：生田目崇（中央大学）、伊藤真理（神戸大学）、山本康生（ヤフー株式会社）
日吉久礎（株式会社ブレインパッド）
- ・参加者52名

4. 企業事例交流会

(1) 春季企業事例交流会（第48回）：オンライン開催

(2) 秋季企業事例交流会（第49回）：対面開催

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2022年3月1日	67	3	1,900部
2022年4月1日	67	4	1,950部
2022年5月1日	67	5	1,950部
2022年6月1日	67	6	1,950部
2022年7月1日	67	7	1,900部
2022年8月1日	67	8	1,850部
2022年9月1日	67	9	1,850部
2022年10月1日	67	10	1,850部
2022年11月1日	67	11	1,850部
2022年12月1日	67	12	1,650部
2023年1月1日	68	1	1,500部
2023年2月1日	68	2	1,450部

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ），和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月	巻	号	発行部数
2022年4月	65	2	55部
2022年7月	65	3	50部
2022年10月	65	4	40部
2022年12月 (TORSJ)	65		35部
2023年1月	66	1	50部

なお、論文誌はインターネット上で無料公開しており、発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	待ち行列	豊泉洋（早稲田大学）, 井上文彰（大阪大学）	31 名	8 回 (1 回)	計 8 回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、金融・保険、ブロックチェーンなど多岐に渡っている。このうち 1 回は 4 部会・グループ（「確率最適化とその応用」、「信頼性と OR」、「待ち行列」、「量子コンピュータと次世代計算機活用」）の合同で実施された。また、2023 年 1 月 18 日から 20 日に「2022 年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	東京工業大学 早稲田大学
2	数理計画 (RAMP)	吉瀬 章子（筑波大学）, 高野 祐一（筑波大学）	36 名	1 回	10 月 6、7 日にハイブリッド開催（秋田拠点センター ALVE（アルヴェ）での現地開催とオンライン配信の併用）でシンポジウムを開催した。テーマは「数理モデルと確率最適化の OR」、「連続最適化アルゴリズム：理論と応用の架け橋」、「離散最適化のフロンティア」、「OR 技術活用の最先端」である。この他に 2 件の特別講演を設け、海外からの講演者を招きオンラインでご講演いただいた。このように国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演いただいた。	ハイブリッド開催（秋田拠点センター ALVE（アルヴェ）での現地開催とオンライン配信の併用）
3	評価の OR	杉山学（群馬大学）, 趙宇（東京理科大学）	12 名	4 回 (1 回)	評価の OR 研究部会では、データ包絡分析法 (DEA)、階層分析法 (AHP)、ゲーム理論、データ解析など広く評価に関わる OR 的手法をテーマとし、その理論と応用に関する議論を行います。定例研究会では毎回 2 名の講演者を招き、DEA やその他評価に関連した分析手法やその応用研究について講演を行った。本年度は全 4 回のうち 1 回は例年通り「学生発表会」として研究会を実施し、若手研究者（特に現大学院生）に研究発表の場を提供し、支援を行った。延参加者 73 名。	オンライン開催

4	意思決定法	飯田洋市（公立諏訪東京理科大学），大山口菜都美（秀明大学）	6 名	5 回	例年通り 5 回の部会を開催し、階層分析法を中心に、TOPSIS や学会員以外による経済複雑性指標による意思決定に関する研究報告があった。学生大会は中止とした。対面で 2 度開催でき、4 回目までに延べ 37 名があった。	オンライン、東京理科大学、名古屋大学
5	サプライチェーン戦略	加納 政志（株式会社日立製作所），草刈 君子（ソフトウェアエンジニアリング株式会社）	17 名	2 回	企業の経営戦略・運用戦略・戦略プロセスはサプライチェーンを軸に実施される。ここで適用する OR 手法について事例と理論両面からの研究を行う。今年度は DX を取り上げ日本企業の再生・復活を目的とし活動した。	オンライン

	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	ヘルスケアの OR	鈴木敦夫（南山大学），伊藤真理（神戸大学），小笠原悠（東京都立大学）	92 名	5 回	OR 研究者とヘルスケア・サービスの現場にいる研究者が交流を重ね、我が国の課題に応える OR の新たな応用分野の開拓，そして，討論や関連学会での共同研究発表を通じた OR 研究の普及を行う。	東京理科大学，南山大学
2	確率最適化とその応用	來島 愛子（上智大学），堀口 正之（神奈川大学），王 琦（長崎総合科学大学）	15 名	5 回 (3 回)	本年度は多種多様なテーマでの研究成果発表と研究討議に積極的でした。また、これまでの御縁の繋がりによる恒例の合同研究会でも意見交換や今後の研究展望などメンバー、参加者ともに実りの多い年でした。	上智大学、早稲田大学、大阪電気通信大学
3	信頼性とその応用	伊藤弘道（鳥取大学），小柳淳二（鳥取大学），岡村寛之（広島大学）	29 名	5 回 (1 回)	信頼性理論の新たな展開や実務への適用の報告が大学側からなされるとともに企業における事例紹介がなされ、多彩な内容となった。また学生の研究成果の報告にて新たな人材育成が順調になされていることも紹介された。	オンライン開催
4	エネルギーシステムの進化と OR	所 健一（一般財団法人 電力中央研究所），宇田川 佑介（構造計画研究所）	40 名	3 回	本研究部会では，少子高齢化による需要減への対応，脱炭素化へ向けた再生可能エネルギーの活用など，望ましいエネルギーシステムの進化を支える OR 手法の適用方法と，必要となる新たな方法論について検討する。	オンライン開催

5	データドリブンマーケティング研究部会	横山暁（青山学院大学），朝日弓未（東京理科大学），大竹恒平（東海大学）	13 名	4 回	本年度は楽天グループ株式会社より提供いただく EC サイトの販売履歴データを利用した「データ解析コンペティション」を開催した。15 チームのエントリー，延べ 79 人の参加者があり，12 月初旬に中間発表会 2 回，2 月末に最終発表会 2 回をいずれもハイフレックス形式にて開催した。 売上データの分析ということで，併売分析や時系列分析を中心に，各チームが課題をもったデータ集計・分析に取り組み，発表会を通して成果を報告するとともに，議論を行った。	青山学院大学青山キャンパス（＋オンライン）
6	最適化手法とアルゴリズム	谷川眞一（東京大学），伊藤勝（日本大学）	7 名	5 回	延べ 8 名の講師を招いて 4 回の定例会を開催し、最適化とアルゴリズム及び関連諸分野について議論した。研究集会「未来を担う若手研究者の集い」を開催し、ハイブリッド形式にて、一般講演 26 件と特別講演 1 件を行った。	オンライン 会議システム Zoom および東京大学本郷キャンパス
7	流動の数理	鳥海重喜（中央大学），稲川敬介（秋田県立大学）	21 名	3 回 (1 回)	都市における輸送，交通ネットワーク，エネルギーに関する研究会をこれまでに 3 回開催し、延べ 136 名が参加した。OR とデータを用いて、ヒト・モノ・金・情報などの流動を数理的に分析する研究の発展に寄与した。	中央大学 オンライン開催
8	危機管理と公衆安全	鵜飼孝盛（防衛大学校），佐久間大（防衛大学校）	20 名	4 回 (1 回)	計 4 回の部会を開催し、災害などの脅威への対処方策である危機管理に関する研究、そして、これを未然に防ぎ公共・公衆の安全を実現するための方策に関連する研究およびその社会実装について講演された。	政策研究大学院大学 オンライン開催

	研究グループ	主査, 幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	未来都市のOR	三浦英俊（南山大学），嚴先鏞（筑波大学）	19 名	3 回	未来都市の諸問題についてメンバーやゲストによる研究発表とその後の議論等を通じて，分析・手法などの理論面の深化を図り，さらに広くオペレーションズ・リサーチに適用可能な理論や数理モデルの開発に取り組んだ．また，施設配置，交通，環境，防災，観光，経済等の多種多様な未来都市に関する問題を解決するための実践的側面についても研究を深めた．	東京大学，筑波大学，南山大学
2	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪 拓也（九州工業大学），矢実 貴志（株NTT データ）	8 名	1 回 (1 回)	量子コンピュータやイジングマシンなどを含む次世代計算機を用いて、最適化をはじめとしたORの問題や実社会における具体的な課題に対する活用方法を検討するために、計 1 回の研究集会を開催した。延参加者 44 名。	早稲田大学

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 第23回業績賞
 - ▷ 松井 知己（東京工業大学）
- (2) 第47回普及賞
 - ▷ 樫尾 博（東京ガス）
 - ▷ 宮代 隆平（東京農工大学）
- (3) 第46回実施賞
 - ▷ 土谷 隆（政策研究大学院大学）

2. 秋季表彰

- (1) 第12回研究賞
 - ▷ 谷川 眞一（東京大学）
- (2) 第12回研究賞奨励賞
 - ▷ 五十嵐 歩美（国立情報学研究所）
 - ▷ 岩政 勇仁（京都大学）
 - ▷ 田中 未来（統計数理研究所）
 - ▷ Jeon Hae jun（東京理科大学）
- (3) 第42回事例研究賞
 - ▷ 千代 竜佑（ZOZO 研究所）
- (4) 第12回論文賞
 - ▷ 木村 雅俊（大阪大学），滝根 哲哉（大阪大学）
- (5) 第40回学生論文賞
 - ▷ 倉又 迪哉（修論 東京工業大学）
 - ▷ 高橋 知希（卒論 東京理科大学）
 - ▷ 中村 彩音（修論 筑波大学）
 - ▷ 西島 光洋（修論 東京工業大学）
 - ▷ 富士 晃成（修論 東京大学）

【海外研究助成事業】

□事業の趣旨・内容

本事業は、若手オペレーションズ・リサーチ研究者に対する海外研究助成により、海外の研究機関とのオペレーションズ・リサーチの研究および応用に関する連携を一段と進化及び拡大させ、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1 伊藤 勝 (日本大学)

派遣期間：7月29日～8月30日

派遣先：米国 Department of Industrial and Systems Engineering, University of Minnesota
Zhaosong Lu 教授

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内容
第1回運営委員会、支部総会	2022年 5/20	オンライン	(1) 令和3年度事業報告 (2) 令和3年度収支決算報告ならびに監査報告 (3) 令和4年度役員（案） (4) 令和4年度事業計画（案） (5) 令和4年度予算（案） (6) その他
サマースクール	2022年 9/7～9/9	北海道大学経済学部3階大会議室（9/7, 8） 北海道大学学術交流会館第2会議室（9/9）	テーマ：契約理論の基礎 講師：琉球大学 国際地域創造学部 宮田亮 准教授 共催：北海道大学大学院経済学研究院 鈴木輝好研究室
第2回支部運営委員会・懇親会	2022年 9/7	ほくでん北二条クラブ	(1) 2023年度支部事業費の申請案について (2) その他

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2022/3/28	オンライン	2021 年度事業報告, 2021 年度決算, 2022 年度事業計画についてなど
講演会	2022/3/28	オンライン	中山明 (福島大学) 「これまでの研究活動と今後に向けて」
セミナー	2022/11/27	オンライン	東北 OR セミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会. 主として学生に研究発表と人的交流の場を提供し, 個々の大学や 研究室を超えた地域全体での若手研究者育成, および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている. 今年度は, 2022 年 11 月 27 日 (日) にオンラインで開催した. 33 名 (うち学生 23 名) の参加者を集めて, 盛況のうちに無事終了することができた. 本研究交流会では優秀な発表を行った若干名の学生に対して学生優秀発表賞を授与しており, 本年度は 3 名が選出された. 詳細は下記サイト参照. https://orsj.org/tohoku/seminar/tors2022/
会議	2022/9/14	朱鷺メッセ (新潟)	東北支部運営委員会
会議	2022/10/11	オンライン	東北支部幹事会
会議	2022/11/27	オンライン	東北支部幹事会

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内容
中部支部総会	2022 年 3 月 5 日	オンライン (Zoom)	議題： (1) 2021 年度事業報告 (2) 2021 年度決算報告 (3) 会計監査に関する支部規程・規約改定について (4) 2022 年度役員選出 (5) 2022 年度事業計画 (6) 2022 年度予算 (7) その他
中部支部運営委員会	2022 年 3 月 5 日	オンライン (Zoom)	議題： (1) 2022 年度総会について (2) その他
第 1 回 幹事会	2022 年 3 月 5 日	オンライン (Zoom)	議題： (1) 2022 年度総会について (2) その他
第 2 回 幹事会	2022 年 6 月 25 日	オンライン (Zoom)	議題： (1) 2022 年度支部事業について ・支部シンポジウム (2) 2022 年度のイベント計画について ・2022/8/27(土) SSOR ・2022/11/19(土) C3PO セミナー@金沢? ・2022/12/10(土) 支部シンポジウム ・2023/3/4 (土) 研究発表会と招待講演 (3) 拡大高大連携 (4) 支部独自の賞 (5) OR 学会シンポジウムの開催について(意見徴収) (6) その他 ・2022 年 3 月開催支部長会議報告
第 3 回 幹事会	2022 年 12 月 10 日	南山大学 G30 +オンライン (Zoom)	議題： (1) 2023 年度中部支部シンポジウムについて(報告) (2) 2023 年 3 月 講演会&研究発表会について (3) 中部支部新設の賞について(経過報告) (4) 2024 年秋季研究発表会について (5) 中部支部新事業(高大連携、企業との連携)について(継続) (6) その他
第 49 回中部支部研究発表会および特別講演会	2022 年 3 月 5 日	オンライン (Zoom)	研究発表会発表件数：11 件 参加者数：事前登録者数 47 名、当日のオンライン参加者数観測値 最大 46 名 特別講演会講師：鈴木 正昭氏(中京大学) ・第 49 回中部支部研究発表会アブストラクト集を発行した ・オンライン懇親会を開催した

2022 年度日本 OR 学会中部支 部シンポジウム	2022 年 12 月 10 日	南山大学 G30 +オンライン (Zoom)	参加者数：オンライン参加者数観測値 最大 13 名+現地参加者 8 名 プログラム： 開会の挨拶 13:25-13:30 OR 学会中部支部支部長 佐々木美裕(南山大学) ■講演 1 13:30-14:30 「分離可能想定下の非負行列分解に対する Hottopixx 法の改良」 水谷 友彦 氏 (静岡大学) ■講演 2 14:45-15:45 「確率的離散最適化問題に対する適応的最適化」 福永 拓郎 氏 (中央大学) ■講演 3 16:00-17:00 「Uncertainty and Robustness in Assembly Line Balancing Problems」 Jordi Pereira Gude 氏 (Adolfo Ibanez University) 閉会の挨拶 17:00-17:10 OR 学会中部支部副支部長 桑野 裕昭 (金沢学院大学) 講演者との交流会 18:00-20:00
支部講演会	2022 年 6 月 25 日	オンライン (Zoom)	参加者数：事前登録 39 名、オンライン参加者数観測値 28 名 プログラム： ■講演 1 15:30-16:30 「集合最適化における集合の比較方法とその双対表現について」 小形 優人 氏 (金沢学院大学経済情報学部経済情報学科) ■講演 2 16:45-17:45 「線形計画法による一方向通貨交換問題の解析」 藤原 洋志 氏 (信州大学工学部電子情報システム工学科) 懇親会 18:00-20:00 オンライン開催
SSOR 中部支部 2022	2022 年 8 月 27 日	オンライン (Zoom)	参加者数：最大観測者 22 名 発表件数：8 件 ・オンライン懇親会を開催した

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2022/4/23	Zoomにて開催	2021 年度事業報告・決算および 2022 年度事業計画・予算などが承認された。 ・出席者 35 名，委任状提出 39 名 計 74 名
支部記念講演会	2022/4/23	Zoomにて開催	・講師：来嶋 秀治 氏（滋賀大学） ・題目：「私の数理工学・補遺」 ・参加者：35 名
支部若手研究発表会	2022/10/29	ハイブリッド開催 主会場：大阪大学吹田キャンパス	・実行委員長：木村達明（大阪大学） ・実行委員：井上真二（関西大学），井上文彰（大阪大学），佐藤寛之（京都大学），檀寛成（関西大学），北條仁志（大阪府立大学），山口勇太郎（大阪大学） ・発表件数：13 件 ・参加者：主会場 22 名，オンライン 9 名 ・発表者の中から，選考委員会の経て，4 名に「OR 学会関西支部 若手研究発表会 優秀発表賞」を授与することが決定した。
支部シンポジウム	2022/12/10	ハイブリッド開催 主会場：中央電気倶楽部	・実行委員長：竹本康彦（近畿大学） ・参加者：会場での参加者 11 名，オンライン 19 名 ・講演者および講演題目 1. 荒川 雅裕 氏（名古屋工業大学）「製造現場における IoT/DX を考慮した生産システムの開発」 2. 平内 和樹 氏（労働安全衛生総合研究所）「作業負担軽減や作業性向上を目的とした異常検知に基づく姿勢や動作の問題点の検出」 3. 竹本 康彦 氏（近畿大学）「モノづくりのスマート化に資する品質管理の方法に関する一考察」 4. 鄭 俊俊 氏（大阪大学） 「ソフトウェア信頼性とセキュリティのための時系列ベースの深層学習」
支部運営委員会	第 1 回： 2022/4/23 第 2 回： 2022/11/16 第 3 回： 2023/2/10	Zoomにて開催	第 1 回：出席者 24 名，委任状提出 6 名 計 30 名 第 2 回：出席者 26 名，委任状提出 6 名 計 32 名 第 3 回：出席者 25 名，委任状提出 11 名 計 36 名

5. 中国四国支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2022/3/26	オンライン (ZOOM)	令和3年度支部活動・決算の報告 令和4年度支部役員・活動計画・予算の承認
SSOR	2022/11/5 2022/11/6	香川大学 オンライン (ZOOM)	中国・四国支部では、若手研究者の育成のために様々な取り組みを行っている中、その活動の一環として、若手の研究発表を中心とした研究発表会を開催した。初日に情報交換会を設けることで、多くの意見交換が為されるとともに、親睦を深めることができた。(参加者：25名(内 学生15名))
支部シンポジウム	2022/12/10	オンライン (ZOOM)	本シンポジウムでは、現場の第一線でご活躍されている講師4名を招待した。社会に役立つ様々な応用を前提とした最適化モデルの実例をご紹介いただき、実現象をどのようにモデル化したのかについてわかりやすく解説していただいた。(参加者：20名)
支部研究部会	2022/7/20	鳥取大学	部会名「プロジェクトマネジメントと確率モデル」 主催講演会：1件(講師1名)
支部研究部会	2022/6/18 2023/1/7	オンライン (ZOOM)	部会名「SCM&サービス工学」 主催講演会：2件(講師2名)
支部研究部会	2022/12/6 2023/2/18	オンライン (ZOOM)	部会名「ORと数学」 主催研究会：2件(講師3名)
講演会	2022/3/26 2022/9/22 2021/11/5 2022/12/24 2023/2/18	オンライン (ZOOM)	講師：池上敦子(成蹊大学理工学部情報科学科 教授) 講師：Ermeson Andrade (Department of Computing, Federal Rural University of Pernambuco, Brazil) 講師：鈴木達也(香川大学 創造工学部 助教) 講師：野々部宏司(法政大学デザイン工学部 教授) 講師：広谷大助(県立広島大学 地域創生学部地域創生学科地域産業コース 准教授)

九州支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2022/3/5	ハイブリット式 ・西新プラザ ・オンライン	2021 年度事業報告・決算報告 2022 年度事業計画・予算・役員選出・審議・承認 ・出席者：13 名，委任状提出 9 名，計 22 名
講演会	2022/7/2	ハイブリット式 ・西新プラザ ・オンライン	・講師：趙 宇 様（東京理科大学） ・題目：「ノンパラメトリックなアプローチによる生産フロンティアの推定」 ・参加者：15 名
研究会	2022/7/2	ハイブリット式 ・西新プラザ ・オンライン	・講師：山村 圭一郎 様（九州大学） ・題目：「Diversified Adversarial Attacks based on Conjugate Gradient Method」 ・参加者：15 名
講演会	2022/10/29	ハイブリット式 ・福岡大学 ・オンライン	・講師：万 軍民 様（福岡大学） ・題目：「Inbound Demand in Fear of Pandemic Disease: Consumption with Inventories Perspective」 ・参加者：32 名
若手交流会	2022/10/29	ハイブリット式 ・福岡大学 ・オンライン	・九州地区における若手 OR 研究交流会 ・発表者人数：10 件 ・参加者：32 名（うち学生：19 名）
講演会	2022/12/10	ハイブリット式 ・九州工業大学 ・オンライン	・講師：濱口 由子 様（結核予防会結核研究所） ・題目：「結核の感染症数理モデル」 ・参加者：15 名（現地：9 名、遠隔：6 名）
研究会	2022/12/10	ハイブリット式 ・九州工業大学 ・オンライン	・講師：大輪 拓也 様（九州工業大学） ・題目：「イジングマシン概観とランダムクラスターモデル」 ・講師：加藤 淳一 様（久留米大学） ・題目：「『市場創造分析』を巡って」 ・参加者：15 名（現地：9 名、遠隔：6 名）

【会議】

1. 通常総会

2022 年 4 月 26 日（オンライン開催）

◇審議

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| 1 「2021年度事業報告」の件 | 承 | 認 |
| 2 「2021年度決算報告および監査報告」の件 | | 〃 |
| 3 「2022-2023年度新役員承認」の件 | | 〃 |
| 4 「機関誌冊子体の実費負担」の件 | | 〃 |

◇報告

- | | | |
|--------------|---|---|
| 1 2022年度事業計画 | 報 | 告 |
| 2 2022年度収支予算 | | 〃 |

2. 理事会

【2022 年度第 1 回】2022 年 4 月 8 日（ハイブリット開催）

◇審議

- | | | |
|-------------------------------|---|---|
| 1 前回理事会議事録確認 | 承 | 認 |
| 2 入会・シニア・特別会員承認の件 | | 〃 |
| 3 2022 年度総会資料の件 | | 〃 |
| 1 第 1 号議案 2021 年度事業報告の件 | | |
| 2 第 2 号議案 2021 年度決算報告と監査報告の件 | | |
| 3 第 3 号議案 2022-2023 年度役員承認の件 | | |
| 4 第 4 号議案 機関誌冊子体の実費負担の件 | | |
| （5 報告 1 2022 年度事業計画書（参考：承認済）） | | |
| （6 報告 2 2022 年度収支予算書（参考：承認済）） | | |
| 4 2022 年度理事会等日程の件 | | 〃 |
| 5 2022 年度委員及び幹事委嘱の件 | | 〃 |
| 6 2022 年秋季研究発表会・シンポジウムの後援の件 | | 〃 |
| 7 2022 年研究部会・グループへの追加補助金申請の件 | | 〃 |
| 8 支部規程細則の改訂の件 | | 〃 |
| 9 九州支部規約改正の件 | | 〃 |
| 10 学会員からの提案受付体制の整備の件 | | 〃 |
| 11 機関誌冊子体費用の件 | | 〃 |
| 12 職員就業規程改訂の件 | | 〃 |
| 13 2021 年度第 3 回 OR セミナー収支報告の件 | | 〃 |

◇報告

- | | | |
|-----------------------------|---|---|
| 1 会員管理システム移行完了の件 | 報 | 告 |
| 2 2022 年度 IFORS Fellow 推薦の件 | | 〃 |
| 3 2021 年度研究部会・グループ活動報告 | | 〃 |
| 4 研究発表会・シンポジウム手引きの改訂 | | 〃 |
| 5 2021 年度後半代表理事職務執行状況報告 | | 〃 |
| 6 次回理事会議事の件 | | 〃 |

【2022 年度（総会直後の）臨時理事会】2022 年 4 月 26 日（ハイブリット開催）

◇審議

- | | | |
|---------------|---|---|
| 1 会長選出の件 | 承 | 認 |
| 2 副会長選出の件 | | 〃 |
| 3 会務の確認の件 | | 〃 |
| 4 職員就業規程改訂の件 | | 〃 |
| 5 非常勤職員契約変更の件 | | 〃 |

◇報告

- | | | | |
|---|--------------------|---|---|
| 1 | 2022 年度理事会等の日程確認の件 | 報 | 告 |
| 2 | 理事会資料提出方法の確認の件 | 〃 | |

【2022 年度第 2 回】 2022 年 5 月 27 日 (ハイブリット開催)

◇審議

- | | | | |
|----|-----------------------------|---|---|
| 1 | 前回理事会議事録確認 | 承 | 認 |
| 2 | 入会・退会承認の件 | 〃 | |
| 3 | シニア会員承認の件 | 〃 | |
| 4 | 2022 年度学会賞(秋季表彰)の件 | 〃 | |
| 5 | 2022 年年度春季研究発表会及びシンポジウム決算の件 | 〃 | |
| 6 | 2022 年度 OR セミナー年間予定について | 〃 | |
| 7 | 関西支部規約改訂について | 〃 | |
| 8 | 2022 年度委員及び幹事委嘱の件 | 〃 | |
| 9 | 2022 年度対外委員の件 | 〃 | |
| 10 | 名誉会員推薦の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | | |
|---|----------------------|---|---|
| 1 | 第 39 回学生論文賞応募件数の変更の件 | 報 | 告 |
| 2 | 次回理事会議事の件 | 〃 | |

【2022 年度第 3 回】 2022 年 7 月 22 日 (ハイブリット開催)

◇審議

- | | | | |
|---|--------------------------|---|---|
| 1 | 前回理事会議事録確認 | 承 | 認 |
| 2 | 入会・退会承認の件 | 〃 | |
| 3 | シニア会員承認の件 | 〃 | |
| 4 | 2022年度第1四半期収支報告の件 | 〃 | |
| 5 | 2022年度学生論文賞の件 | 〃 | |
| 6 | 2022年度第1回ORセミナー実施報告の件 | 〃 | |
| 7 | 2022年度第2回ORセミナーの企画状況の件 | 〃 | |
| 8 | 2023年度支部事業費の件 | 〃 | |
| 9 | IFORSからのロシアOR学会の除名への対応の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | | |
|---|-----------------|---|---|
| 1 | 第1回広報委員会議論の件 | 報 | 告 |
| 2 | ORセミナー実施手順の改訂の件 | 〃 | |
| 3 | 学会在り方意見交換会の報告の件 | 〃 | |
| 4 | 次回理事会議事の件 | 〃 | |

【2022 年度第 4 回】 2022 年 10 月 28 日 (ハイブリット開催)

◇審議

- | | | | |
|----|-------------------------------|---|---|
| 1 | 前回理事会議事録確認 | 承 | 認 |
| 2 | 入会・退会承認の件 | 〃 | |
| 3 | 2022年度第2四半期収支の件 | 〃 | |
| 4 | 2023年度予算作成の件 | 〃 | |
| 5 | 2023年春季研究発表会及びシンポジウム概要及び予算案の件 | 〃 | |
| 6 | 2023年秋季研究発表会及びシンポジウム計画案の件 | 〃 | |
| 7 | 2022年度第3回ORセミナー案の件 | 〃 | |
| 8 | IFORSからのロシアOR学会の除名への対応の件 | 〃 | |
| 9 | 機関誌編集委員追加の件 | 〃 | |
| 10 | 各種規程変更の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | | |
|---|------------------------|---|---|
| 1 | 2022年度前半代表理事職務執行状況報告の件 | 報 | 告 |
| 2 | 2023-2024年度役員の選挙日程の件 | 〃 | |

3 次回理事会議事の件 //

【2022 年度第 5 回】 2022 年 12 月 19 日 (ハイブリット開催)

◇審議

1 前回理事会議事録確認	承	認
2 入会・退会承認の件		//
3 シニア会員承認の件		//
4 2022年度近藤賞の件		//
5 2023年度新フェロー候補推薦の件		//
6 2022年度第2回ORセミナー実施報告の件		//
7 2023年度の普及関連事業の件		//
8 2023年度-支部事業費の件		//
9 PHMAP23の協賛の件		//
10 職員就業規程改訂の件		//

◇報告

1 ORセミナー実施手順の改訂の件	報	告
2 2023年度予算案1次集計結果の件		//
3 中部支部の表彰規程の件		//
4 現在の事務局体制の件		//
5 次回理事会議事の件		//

【2022 年度第 6 回】 2023 年 1 月 30 日 (ハイブリット開催)

◇審議

1 前回理事会議事録確認	承	認
2 入会・退会承認の件		//
3 シニア会員承認の件		//
4 2023年度春季表彰学会賞候補の件		//
5 2023年度研究部会・グループの新設・継続申請の件		//
6 2023年度研究部会・グループ追加補助金の件		//
7 講師謝金・宿泊費の上限変更の件		//
8 2022年秋季研究発表会・シンポジウム決算の件		//
9 2024年春季研究発表会・シンポジウム計画案の件		//
10 2023年度第1回ORセミナーの企画状況の件		//
11 2022年度第3四半期収支の件		//
12 内閣府への届け出(2023年2月末まで)の件		//
13 2023年度業務委託契約等変更の件		//
14 2023年度通常総会日程の件		//
15 関西支部運営委員の任期に関する特例措置の件		//
16 IFORS殿堂入り候補投票の件		//

◇報告

1 2023-2024年度役員選挙の件	報	告
2 2020年度「研究者海外研修支援事業」実施報告の件		//
3 研究部会「最適化と理論とアルゴリズム」の表彰規程制定の件		//
4 新年度委員選任の依頼の件		//
5 現在の事務局体制の件		//
6 山上会長の横幹連合理事就任の件		//
7 2023年度第1回理事会議事の件		//

【役員】

理事（非常勤）

定数：12人から18人（現在：17人）

任期：2年

監事（非常勤）

定数：2人（現在：2人）

任期：2年

2022年度末現在

理事・監事の役職	氏名	常勤非常勤の別	就任年月日	担当職務	報酬	現職
理事（会長）	山上 伸	非常勤	2022.4.26	会務の総理	なし	東京ガス株式会社
〃（副会長）	田村 明久	〃	2021.4.27	〃	〃	慶応義塾大学
〃（〃）	山田 昭雄	〃	2021.4.27	〃	〃	日本電気株式会社
〃（〃）	猿渡 康文	〃	2022.4.26	〃	〃	筑波大学
〃（庶務）	鳥海 重喜	〃	2021.4.27	〃	〃	中央大学
〃（〃）	所 健一	〃	2022.4.26	〃	〃	（一財）電力中央研究所
〃（会計）	後藤 順哉	〃	2022.4.26	会計	〃	中央大学
〃（普及）	堀 淳志	〃	2022.4.26	普及	〃	三菱電機株式会社
〃（研究）	山下 真	〃	2021.4.27	研究	〃	東京工業大学
〃（OR誌編集）	野々部 宏司	〃	2021.4.27	機関誌編集	〃	法政大学
〃（JORSJ編集）	牧野 和久	〃	2022.4.26	論文誌編集	〃	京都大学
〃（国際）	鵜飼 孝盛	〃	2021.4.27	国際	〃	防衛大学校
〃（涉外）	辻野 雅之	〃	2022.4.26	涉外	〃	東京国際工科専門職大学
〃（広報）	塩野 直志	〃	2022.4.26	広報	〃	神奈川工科大学
〃（支部）	奥田 隆史	〃	2021.4.27	支部	〃	愛知県立大学
〃（大会）	田中 環	〃	2021.4.27	大会	〃	新潟大学
〃（〃）	木庭 淳	〃	2022.4.26	〃	〃	兵庫県立大学
〃（無任所）	（欠員）					
監事	松林 伸生	〃	2021.4.27	定款 20 条	〃	慶応義塾大学
〃	三嶋 英俊	〃	2022.4.26	〃	〃	三菱電機株式会社

【職員】

2022年度末現在

職名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局 長	非常勤	2022.3.1	総括・庶務・涉外	
職員	パート	2022.12.23	経理・学会事務全般	
〃	パート	2022.12.1	会員管理・学会事務	

【会員状況】

1. 2022 年度通算 (2022/03/01～2023/2/28)

		名誉 会員	正会員		学生会員	賛助会員		合計
			一般	シニア・ 特別		A 種	B 種	
2022. 3. 1		12	1344	63	133	35	19	1606
入 会			72		89	3	3	166
退 会			▲ 95	▲ 8	▲ 45	▲ 3		▲ 151
移動	学→正		7		▲ 7			0
	正→学							0
	正→シ		▲ 8	8				0
	正→名	1	▲ 1					0
	A 種→B 種							0
今期間増減		1	▲ 25	0	37	0	3	16
2023. 2. 28 現在		13	1319	63	170	35	22	1622

年月日	合計	前年比
2023.02.28	1622	16
2022.02.28	1606	▲ 110
2021.02.28	1716	▲ 96
2020.02.29	1812	▲ 72
2019.02.28	1884	▲ 24
2018.02.28	1908	▲ 50
2017.02.28	1958	▲ 15
2016.02.29	1973	▲ 67
2015.02.28	2040	▲ 45
2014.02.28	2085	29
2013.02.28	2056	▲ 86
2012.02.29	2142	▲ 56

2. 支部別会員数

支部	名誉 会員	正会員		学生会員	賛助会員		合計
		一般	シニア・ 特別		A 種	B 種	
北海道		34	2	1			37
東 北		45	1	13			59
中 部		100	10	12	1	2	125
関 西	2	184	9	19	4	1	219
中国・四国		59	6	4	1		70
九 州		62	5	9			76
本 部	11	835	30	112	29	19	1036
2023. 2. 28 現在	13	1319	63	170	35	22	1622

2022年度決算報告および監査報告

第2号議案

貸借対照表

令和 5年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	24,186,467	25,783,324	△ 1,596,857
未収会費	1,810,600	1,195,200	615,400
未収金	1,379,950	639,020	740,930
前払金	235,224	235,224	0
前払費用	53,749	109,169	△ 55,420
預け金	2,425,200	3,169,485	△ 744,285
流動資産合計	30,091,190	31,131,422	△ 1,040,232
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	448,000	713,206	△ 265,206
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	4,200,000	4,200,000	0
〇A化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
〇R事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	7,000,000	7,000,000	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
若手〇R研究者育成基金	7,500,000	7,500,000	0
助成事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
リース資産	593,705	834,101	△ 240,396
特定資産合計	72,621,705	73,127,307	△ 505,602
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	73,572,105	74,077,707	△ 505,602
資産合計	103,663,295	105,209,129	△ 1,545,834
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	126,497	44,077	82,420
未払費用	66,922	160,016	△ 93,094
前受金	3,608,499	2,471,471	1,137,028
前受会費	13,812,616	16,776,200	△ 2,963,584
預り金	127,287	534,992	△ 407,705
仮受金	24,000	0	24,000
未払消費税等	0	244,700	△ 244,700
流動負債合計	17,765,821	20,231,456	△ 2,465,635
2. 固定負債			
退職給付引当金	448,000	713,206	△ 265,206
リース債務	968,288	1,364,384	△ 396,096
固定負債合計	1,416,288	2,077,590	△ 661,302
負債合計	19,182,109	22,309,046	△ 3,126,937
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	79,481,186	77,900,083	1,581,103
	(67,173,705)	(67,414,101)	(△ 240,396)
正味財産合計	84,481,186	82,900,083	1,581,103
負債及び正味財産合計	103,663,295	105,209,129	△ 1,545,834

正味財産増減計算書

令和 4年 3月 1日から令和 5年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,387	2,009	△ 622
特定資産受取利息	1,387	2,009	△ 622
受取入会金	149,400	103,200	46,200
受取正会員入会金収入	94,800	63,000	31,800
受取学生会員入会金収入	54,600	40,200	14,400
受取会費	26,984,700	24,494,400	2,490,300
正会員受取会費収入	20,191,300	19,152,000	1,039,300
学生会員受取会費収入	980,000	70,000	910,000
賛助会員受取会費収入	5,331,000	4,862,000	469,000
シニア会員受取会費収入	482,400	410,400	72,000
事業収益	13,393,414	10,080,482	3,312,932
受取販売収益	2,769,426	2,271,717	497,709
受取研究発表参加収入	3,095,000	2,009,000	1,086,000
受取参加料	3,921,500	2,366,500	1,555,000
受取広告料	3,178,050	3,162,050	16,000
受取掲載料	147,000	101,000	46,000
受取著作権料	282,438	170,215	112,223
受取補助金等	1,021,557	0	1,021,557
雑収益	166	13,387	△ 13,221
受取利息	166	171	△ 5
雑収益	0	13,216	△ 13,216
経常収益計	41,550,624	34,693,478	6,857,146
(2) 経常費用			
事業費	36,450,909	34,261,007	2,189,902
給与手当	6,083,955	5,966,372	117,583
賞与	1,807,344	1,734,912	72,432
臨時雇賃金	850,443	552,718	297,725
法定福利費	960,865	474,672	486,193
福利厚生費	36,621	10,796	25,825
旅費交通費	1,618,530	98,091	1,520,439
通信運搬費	2,248,751	3,082,106	△ 833,355
退職給付費用	176,842	229,777	△ 52,935
消耗品費	915,634	854,054	61,580
会議費	1,877,744	382,472	1,495,272
印刷製本費	7,109,305	7,898,608	△ 789,303
賃借料	2,921,841	3,234,048	△ 312,207
保険料	19,035	15,751	3,284
租税公課	0	244,700	△ 244,700
支払負担金	258,614	265,331	△ 6,717
諸謝金	3,555,845	4,560,691	△ 1,004,846
委託費	2,868,305	1,754,500	1,113,805
支払手数料	2,924,878	2,520,891	403,987
減価償却費	216,357	216,357	0
貸倒損失	0	164,160	△ 164,160
管理費	3,518,612	3,712,989	△ 194,377
給与手当	675,995	662,930	13,065
賞与	200,816	192,768	8,048
臨時雇賃金	24,725	26,550	△ 1,825
退職金	32,223	341,314	△ 309,091
法定福利費	109,942	52,722	57,220
福利厚生費	4,068	1,199	2,869
旅費交通費	541,982	331,991	209,991
通信運搬費	45,967	73,817	△ 27,850
退職給付費用	19,649	25,530	△ 5,881
消耗品費	17,637	11,266	6,371
会議費	1,363	5,400	△ 4,037
賃借料	324,639	359,328	△ 34,689
保険料	2,115	1,750	365
租税公課	19,518	1,750	17,768
水道光熱費	265,060	253,949	11,111
支払手数料	151,345	170,446	△ 19,101
支払報酬料	907,500	770,000	137,500
諸会費	150,000	160,000	△ 10,000
減価償却費	24,039	24,039	0
貸倒損失	0	246,240	△ 246,240
雑費	2	0	2
雑損失	27	0	27
経常費用計	39,969,521	37,973,996	1,995,525
評価損益等調整前当期経常増減額	1,581,103	△ 3,280,518	4,861,621
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,581,103	△ 3,280,518	4,861,621
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,581,103	△ 3,280,518	4,861,621
一般正味財産期首残高	77,900,083	81,180,601	△ 3,280,518
一般正味財産期末残高	79,481,186	77,900,083	1,581,103
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	84,481,186	82,900,083	1,581,103

正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 3月 1日から令和 5年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	1,381	1,381	6	0	1,387
特定資産受取利息	1,381	1,381	6	0	1,387
受取入会金	97,920	97,920	51,480	0	149,400
受取正会員入会金収入	43,320	43,320	51,480	0	94,800
受取学生会員入会金収入	54,600	54,600	0	0	54,600
受取会費	23,517,740	23,517,740	3,466,960	0	26,984,700
正会員受取会費収入	16,724,340	16,724,340	3,466,960	0	20,191,300
学生会員受取会費収入	980,000	980,000	0	0	980,000
賛助会員受取会費収入	5,331,000	5,331,000	0	0	5,331,000
シニア会員受取会費収入	482,400	482,400	0	0	482,400
事業収益	13,393,414	13,393,414	0	0	13,393,414
受取販売収益	2,769,426	2,769,426	0	0	2,769,426
受取研究発表参加収入	3,095,000	3,095,000	0	0	3,095,000
受取参加料	3,921,500	3,921,500	0	0	3,921,500
受取広告料	3,178,050	3,178,050	0	0	3,178,050
受取掲載料	147,000	147,000	0	0	147,000
受取著作権料	282,438	282,438	0	0	282,438
受取補助金等	1,021,557	1,021,557	0	0	1,021,557
雑収益	0	0	166	0	166
受取利息	0	0	166	0	166
経常収益計	38,032,012	38,032,012	3,518,612	0	41,550,624
(2) 経常費用					
事業費	36,450,909	36,450,909	0	0	36,450,909
給与手当	6,083,955	6,083,955	0	0	6,083,955
賞与	1,807,344	1,807,344	0	0	1,807,344
臨時雇賃金	850,443	850,443	0	0	850,443
法定福利費	960,865	960,865	0	0	960,865
福利厚生費	36,621	36,621	0	0	36,621
旅費交通費	1,618,530	1,618,530	0	0	1,618,530
通信運搬費	2,248,751	2,248,751	0	0	2,248,751
退職給付費用	176,842	176,842	0	0	176,842
消耗品費	915,634	915,634	0	0	915,634
会議費	1,877,744	1,877,744	0	0	1,877,744
印刷製本費	7,109,305	7,109,305	0	0	7,109,305
賃借料	2,921,841	2,921,841	0	0	2,921,841
保険料	19,035	19,035	0	0	19,035
支払負担金	258,614	258,614	0	0	258,614
諸謝金	3,555,845	3,555,845	0	0	3,555,845
委託費	2,868,305	2,868,305	0	0	2,868,305
支払手数料	2,924,878	2,924,878	0	0	2,924,878
減価償却費	216,357	216,357	0	0	216,357
管理費	0	0	3,518,612	0	3,518,612
給与手当	0	0	675,995	0	675,995
賞与	0	0	200,816	0	200,816
臨時雇賃金	0	0	24,725	0	24,725
退職金	0	0	32,223	0	32,223
法定福利費	0	0	109,942	0	109,942
福利厚生費	0	0	4,068	0	4,068
旅費交通費	0	0	541,982	0	541,982
通信運搬費	0	0	45,967	0	45,967
退職給付費用	0	0	19,649	0	19,649
消耗品費	0	0	17,637	0	17,637
会議費	0	0	1,363	0	1,363
賃借料	0	0	324,639	0	324,639
保険料	0	0	2,115	0	2,115
租税公課	0	0	19,518	0	19,518
水道光熱費	0	0	265,060	0	265,060
支払手数料	0	0	151,345	0	151,345
支払報酬料	0	0	907,500	0	907,500
諸会費	0	0	150,000	0	150,000
減価償却費	0	0	24,039	0	24,039
雑費	0	0	2	0	2
雑損失	0	0	27	0	27
経常費用計	36,450,909	36,450,909	3,518,612	0	39,969,521
評価損益等調整前当期経常増減額	1,581,103	1,581,103	0	0	1,581,103
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,581,103	1,581,103	0	0	1,581,103
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,581,103	1,581,103	0	0	1,581,103
当期一般正味財産増減額	1,581,103	1,581,103	0	0	1,581,103
一般正味財産期首残高	1,767,153	1,767,153	76,132,930	0	77,900,083
一般正味財産期末残高	3,348,256	3,348,256	76,132,930	0	79,481,186
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	8,348,256	8,348,256	76,132,930	0	84,481,186

財務諸表に対する注記

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 重要な会計方針
- (1) 固定資産の減価償却の方法
リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職金支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高
- 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)					
科 目		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産					
退職給付引当資産		713,206	196,491	461,697	448,000
名簿作成準備積立金資産		500,000	0	0	500,000
国際協力積立金資産		15,000,000	0	0	15,000,000
表彰事業積立金資産		4,200,000	0	0	4,200,000
O A 化積立金資産		8,380,000	0	0	8,380,000
O R 事典積立金資産		4,000,000	0	0	4,000,000
近藤賞基金引当資産		7,000,000	0	0	7,000,000
公益事業充当資産		20,000,000	0	0	20,000,000
若手O R 研究者育成基金		7,500,000	0	0	7,500,000
助成事業積立資産		5,000,000	0	0	5,000,000
リース資産		834,101	0	240,396	593,705
小 計		73,127,307	196,491	702,093	72,621,705
合 計		73,127,307	196,491	702,093	72,621,705

3. 特定資産の財源等の内訳
- 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)					
科 目		当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産					
退職給付引当資産		448,000	(0)	(0)	(448,000)
名簿作成準備積立金資産		500,000	(0)	(500,000)	(0)
国際協力積立金資産		15,000,000	(0)	(15,000,000)	(0)
表彰事業積立金資産		4,200,000	(0)	(4,200,000)	(0)
O A 化積立金資産		8,380,000	(0)	(8,380,000)	(0)
O R 事典積立金資産		4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
近藤賞基金引当資産		7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
公益事業充当資産		20,000,000	(5,000,000)	(15,000,000)	(0)
若手O R 研究者育成基金		7,500,000	(0)	(7,500,000)	(0)
助成事業積立資産		5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
リース資産		593,705	(0)	(593,705)	(0)
小 計		72,621,705	(5,000,000)	(67,173,705)	(448,000)
合 計		72,621,705	(5,000,000)	(67,173,705)	(448,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
- 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)			
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	1,314,372	720,667	593,705
合 計	1,314,372	720,667	593,705

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
- 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)						
補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
新潟県コンベンション開催費補助金	新潟県	0	597,000	597,000	0	－
コンベンション開催補助金	(公財)新潟観光コンベンション協会	0	398,000	398,000	0	－
感染症予防対策支援助成金	(公財)新潟観光コンベンション協会	0	26,557	26,557	0	－
合 計		0	1,021,557	1,021,557	0	

附属明細書

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	713,206	196,491	461,697	0	448,000

財産目録

令和 5年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等		金 額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として		24,479		
		<振替預金>			3,867,787		
		ゆうちょ銀行 根津支店	運転資金として		3,616,970		
		ゆうちょ銀行 根津支店	運転資金として		250,817		
		<普通預金>			20,294,201		
		みずほ銀行根津支店	運転資金として		11,029,493		
		三井住友銀行 白山支店	運転資金として		3,207,088		
		三菱UFJ銀行 千駄木支店	運転資金として		1,183,802		
		みずほ銀行根津支店	運転資金として		704,268		
		みずほ銀行根津支店	運転資金として		4,169,550		
	未収会費			1,810,600			
		正会員	当年度会費の未収分		1,512,400		
		シニア会員	当年度会費の未収分		7,200		
		学生会員	当年度会費の未収分		195,000		
	未収金	賛助会員B	当年度会費の未収分		96,000		
					1,379,950		
前払金	㈱明報社	当年度広告料の未収分		536,250			
	補助金等	未入金分		843,700			
前払費用 預け金	サンチカビル 事務局	3月分事務所家賃 事務局保険料等		235,224			
	メタックス	未入金分		53,749			
					2,425,200		
流動資産合計						30,091,190	
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産				448,000		
		みずほ銀行 横山町支店	職員の退職給付の給付に備えるために積立 資産として管理されている預金		448,000		
	名簿作成準備積立金 資産				500,000		
		三菱UFJ銀行 千駄木支店	名簿作成のための積立資金		500,000		
	国際協力積立金資産				15,000,000		
		三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している		15,000,000		
	表彰事業積立金資産				4,200,000		
		みずほ銀行 根津支店	表彰事業のための積立資産		4,200,000		
	〇A化積立金資産				8,380,000		
		三井住友銀行 白山支店	備品等の〇A化のための積立資産		8,380,000		
	〇R事典積立金資産				4,000,000		
		みずほ銀行 根津支店	〇R辞典のための積立資産		4,000,000		
	近藤賞基金引当資産				7,000,000		
		みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発事 業の近藤賞のための積立資産		7,000,000		
	公益事業充当資産				20,000,000		
		みずほ銀行 根津支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している		5,000,000		
	三菱UFJ銀行 千駄木支店		公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している		15,000,000		
		若手〇R研究者育成 基金			7,500,000		
	助成事業積立資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発 事業のための積立資産		7,500,000		
					5,000,000		
リース資産	みずほ銀行 根津支店 複合機他	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発 事業のための積立資産 共用財産であり、うち90%は公益目的保有財 産として公益目的事業の用に供し、うち10% は管理運営の用に供している		593,705			
	保証金	サンチカビル	事務所の保証金		950,400		
固定資産合計						73,572,105	
資産合計						103,663,295	
(流動負債)	未払金				126,497		
		その他	その他		126,497		
	未払費用 前受金	日本年金機構他	社会保険料他		66,922		
					3,608,499		
	前受会費	正会員	入会金の前受分		4,500		
		学生会員	入会金の前受分		3,600		
		会員等	翌年度シンポジウム参加費他		1,583,399		
		会員等	翌年度春季研究発表会参加費他		2,017,000		
					13,812,616		
		正会員	正会員会費の前受分		10,916,700		
	預り金	学生会員	学生会員会費の前受分		290,000		
		賛助会員A	賛助会員会費の前受分		1,717,916		
		賛助会員B	賛助会員会費の前受分		528,000		
		シニア会員	シニア会員会費の前受分		360,000		
	仮受金				127,287		
		講師等	講師謝金の源泉税預り分		110,442		
公認会計士等		会計士事務所の源泉税預り分		16,845			
				24,000			
流動負債合計			その他	2023年度春季研究発表会の参加料返金予定分		24,000	
						17,765,821	
(固定負債)	退職給付引当金				448,000		
		職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの		448,000		
	リース債務				968,288		
		シャープファイナンス	リース資産の支払残高		198,288		
日立キャピタル	リース資産の支払残高		770,000				
	固定負債合計						1,416,288
負債合計						19,182,109	
正味財産						84,481,186	

監 査 報 告

2023年 4 月 7 日

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

会長 山上 伸 殿

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

監事 松林 伸生

監事 三嶋 英俊



私たち監事は、2022年 3 月 1 日から 2023 年 2 月 28 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表（内訳表を含む）、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023-2024 年度役員候補者の件

理事／監事	候補者	
理事	三好 直人	東京工業大学
理事	森永 聡	日本電気株式会社
理事	宮川 雅至	山梨大学
理事	鵜飼 孝盛	防衛大学校
理事	林 俊介	法政大学
理事	関谷 和之	成蹊大学
理事	谷崎 隆士	近畿大学
理事	佐々木 美裕	南山大学
理事	鳥海 重喜	中央大学
監事	根本 俊男	文教大学

役員及び役員候補者の担当会務

会務	定数	2021～2022 年度役員 改選		2022～2023 年度役員 非改選		2023～2024 年度役員 候補者	
会長 代表理事	1(0)			山上 伸	東京ガス (株)		
副会長 代表理事	3(2)	田村 明久	慶応義塾 大学			三好 直人	東京工業 大学
		山田 昭雄	日本電気 (株)			森永 聡	日本電気 (株)
				猿渡 康文	筑波大学		
庶務理事	2(1)	鳥海 重喜	中央大学			宮川 雅至	山梨大学
				所 健一	(一財)電力 中央研究所		
国際理事	1(1)	鵜飼 孝盛	防衛大学校			鵜飼 孝盛	防衛大学校
研究普及 理事	2(1)	山下 真	東京工業 大学			林 俊介	法政大学
				堀 淳志	三菱電機 (株)		
編集理事	2(1)	野々部 宏司	法政大学			関谷 和之	成蹊大学
				牧野 和久	京都大学		
会計理事	1(0)			後藤 順哉	中央大学		
渉外理事	1(0)			辻野 雅之	東京国際工科 専門職大学		
広報理事	1(0)			塩野 直志	神奈川工科 大学		
支部理事	1(1)	奥田 隆史	愛知県立 大学			谷崎 隆士	近畿大学
大会理事	2(1)	田中 環	新潟大学			佐々木 美裕	南山大学
				木庭 淳	兵庫県立 大学		
無任所 理事	1(1)	(欠員)	(欠員)	(欠員)	(欠員)	鳥海 重喜	中央大学
監事	2(1)	松林 伸生	慶応義塾 大学			根本 俊男	文教大学
				三嶋 英俊	三菱電機 (株)		

定款改訂の件

定款を以下の通り改訂する。

現行	改訂
(表紙) 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F TEL: 03-3851-6100 FAX: 03-3851-6055 http://www.orsj.or.jp/ E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp	(表紙) 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 TRUST VALUE 岩本町 7F TEL: 03-3851-6100 FAX: 03-3851-6055 https://orsj.org/ E-mail: jimukyoku@m.orsj.org

改訂の理由

(表紙)

住所については、2023 年 4 月 1 日付けで事務局が入居しているビルの名称変更があったためである。学会 Web サイト URL とメールアドレスについては、新しいドメイン(orsj.org)の利用開始から約 2 年が経過し、周知が進んだことによる、旧ドメイン (orsj.or.jp) の停止に伴うものである。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2023 年度事業計画書

事業番号: 公1(1 本のみ)

事業の内容: オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会、シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会、シンポジウム、OR セミナー、OR サロン、企業事例交流会等の活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2023 年度計画

本事業の 2022 年度の各種活動では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を勘案しながら、リアル開催とオンライン開催を並行実施したハイブリット開催を一部実施し、対面による学会活動を開始した。2023 年度は、学会諸活動のリアル開催をさらに進め、会員間の対面によるコミュニケーションの場を拡大、学会活動の一層の活性化を行う。また、昨年度から開始した学会の在り方についての議論をベースとした魅力あるOR学会づくりに向けた新たな取り組みを開始する。

1 研究発表会

◇春季研究発表会:2023 年 3 月 7～8 日 中央大学(後樂園キャンパス)

実行委員長 後藤 順哉(中央大学)

◇秋季研究発表会:2023 年 9 月 14～15 日 関西学院大学(西宮上ヶ原キャンパス)

実行委員長 木庭 淳(兵庫県立大学)

2 シンポジウム

◇春季シンポジウム:2023 年 3 月 6 日 中央大学(後樂園キャンパス)

特別テーマ 「メタヒューリスティクスの活用」

実行委員長 今堀 慎治(中央大学)

◇秋季シンポジウム:2023 年 9 月 13 日 関西学院大学(西宮上ヶ原キャンパス)

特別テーマ 「未定」

実行委員長 畑 正夫(兵庫県立大学)

◇支部主催シンポジウム

	実施支部	テーマ	実施時期	実施場所
1	中部支部	システム評価の理論・応用と OR	2023 年 12 月 予定	愛知工業大学 or オンライン

3 OR セミナー

年間 3 程度開催

第 1 回 OR セミナー

- 開催日: 2023 年 5 月 25 日(木)
- タイトル: エンジニアのためのゲーム理論-ビジネスへの応用とマーケットデザイン
- コーディネーター: 稲川 敬介 (秋田県立大学)

- オーガナイザー： 渡辺 隆裕（東京都立大学）
- 講演スタイル： オンライン講演

第2回 OR セミナー

- 開催日： 未定
- タイトル： 未定
- コーディネーター： 野本 多津（日立製作所）
- オーガナイザー： 山下 倫央（北海道大学）
- 講演スタイル： ハイブリット講演

第3回 OR セミナー

- 開催日： 未定
- タイトル： 未定
- コーディネーター： 出水 宰（NTT ドコモ）
- オーガナイザー： 未定
- 講演スタイル： 未定

4 企業事例交流会

- ◇春季研究発表会において開催:2023 年 3 月 7～8 日 中央大学 詳細未定
- ◇秋季研究発表会において開催:2023 年 9 月 14 日 関西学院大学(西宮上ヶ原キャンパス) 詳細未定

5 SSOR

SSOR:学生会員・若手会員を主な対象とした合宿形式の交流イベント

	主催	実施時期	実施場所
1	北海道支部	2023 年 9 月	北海道大学
2	九州支部	2023 年 10～11月	大分県由布市 or 大分県玖珠町九重町
3	東北支部	2023 年 11 月	未定

【機関誌、論文誌の刊行】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2023 年度計画

1 機関誌

機関誌の冊子版は、主要な会員サービスの一つとして会員に郵送してきたが、省資源化の観点から会員サービス向上のための在り方を見直し、電子版配布主体に移行し、冊子体郵送希望者に対しては有償化を実施する。

- ◇発行回数: 毎月 1 回 年 12 回
- ◇発行号:68 巻 3 号～69 巻 2 号

2 論文誌

- Journal of the Operations Research Society of Japan (英文論文誌)
 - ◇発行回数: 年 4 回
 - ◇発行号: 66 巻 2 号～67 巻 1 号
- Transactions of the Operations Research Society of Japan (和文論文誌)

◇発行回数: 年1回

◇発行号:66 巻

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

調査研究にあたっては、専門の研究部会を設置し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行う。

□2023 年度計画

〈常設部会〉

A	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	豊泉 洋(早稲田大学)	井上 文彰(大阪大学)
2	数理計画(RAMP)	田村 明久(慶応義塾大学)	田中 未来(統計数理研究所)
3	評価の OR	杉山 学(群馬大学)	趙 宇(東京理科大学)
4	意思決定法	飯田 洋市(公立諏訪東京理科大学)	大山口 菜都美(秀明大学)
5	サプライチェーン戦略	伊倉義郎((株)サイテック・ジャパン)	草刈 君子

〈部会〉

B	部 会 名	主 査	幹 事
1	ヘルスケアの OR	鈴木 敦夫(南山大学)	小笠原 悠(東京都立大学) 伊藤 真理(神戸大学)
2	確率最適化とその応用	来島 愛子(上智大学)	王 琦(長崎総合科学大学) 堀口 正之(神奈川大学)
3	信頼性と OR	伊藤 弘道(鳥取大学)	小柳 淳二(鳥取大学) 岡村 寛之(広島大学)
4	エネルギーシステムの進化と OR	進士 誉夫(コージェネ財団)	池上 貴志(東京農工大学)
5	危機管理と公衆安全	鵜飼 孝盛(防衛大学校)	佐久間 大(防衛大学校)
6	最適化の理論とアルゴリズム(RAOTA)	林 俊介(法政大学)	藤井 海斗(国立情報学研究所)
7	ビッグデータを用いたマーケティング分析	横山 暁(青山学院大学)	朝日 弓未(東京理科大学) 大竹 恒平(東海大学)
8	社会と技術・システムのイノベーション	高嶋 隆太(東京理科大学)	鳥海 重喜(中央大学) 稲川 敬介(秋田県立大学)

〈研究グループ〉

C	グループ名	主 査	幹 事
1	未来都市の OR	三浦 英俊(南山大学)	巖 先鏞(筑波大学)
2	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪 拓也(九州工業大学)	矢実 貴志((株)NTTデータ)

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2023 年度計画

〈春季表彰〉 1 月末までに審査・承認予定

- | | |
|-------|---------|
| 1 業績賞 | 1 件予定 |
| 2 普及賞 | 2 件予定 |
| 3 実施賞 | 1 件程度予定 |

〈秋季表彰〉 7 月末までに審査・承認予定

- | | |
|----------|---------|
| 1 研究賞 | 1 件予定 |
| 2 研究賞奨励賞 | 3 件程度予定 |
| 3 事例研究賞 | 3 件程度予定 |
| 4 論文賞 | 1 件予定 |
| 5 学生論文賞 | 5 件程度予定 |

収 支 予 算 書

令和 5年 3月 1日から令和 6年 2月29日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	2, 000	2, 000	0	0	2, 000
受取利息	2, 000	2, 000	0	0	2, 000
受取入会金	195, 000	195, 000	0	0	195, 000
受取正会員入会金収入	180, 000	180, 000	27, 000	0	207, 000
受取学生会員入会金収入	15, 000	15, 000	0	0	15, 000
受取会費	12, 753, 400	12, 753, 400	11, 853, 600	0	24, 607, 000
正会員受取会費収入	7, 240, 400	7, 240, 400	10, 860, 600	0	18, 101, 000
学生会員受取会費収入	522, 000	522, 000	0	0	522, 000
賛助会員受取会費収入	4, 466, 000	4, 466, 000	0	0	4, 466, 000
シニア会員受取会費収入	525, 000	525, 000	0	0	525, 000
事業収益	11, 351, 000	11, 351, 000	0	0	11, 351, 000
受取販売収益	1, 800, 000	1, 800, 000	0	0	1, 800, 000
受取研究発表参加収入	2, 935, 000	2, 935, 000	0	0	2, 935, 000
受取参加料	3, 195, 000	3, 195, 000	0	0	3, 195, 000
受取広告料	3, 251, 000	3, 251, 000	0	0	3, 251, 000
受取著作権料	170, 000	170, 000	0	0	170, 000
経常収益計	24, 301, 400	24, 301, 400	11, 853, 600	0	36, 155, 000

(2) 經常費用					
事業費	35,046,440	35,046,440	0	0	35,046,440
給与手当	6,610,000	6,610,000	0	0	6,610,000
賞与	1,147,000	1,147,000	0	0	1,147,000
臨時雇賃金	1,162,000	1,162,000	0	0	1,162,000
法定福利費	800,000	800,000	0	0	800,000
福利厚生費	50,000	50,000	0	0	50,000
旅費交通費	1,500,000	1,500,000	0	0	1,500,000
通信運搬費	2,300,000	2,300,000	0	0	2,300,000
退職給付費用	448,000	448,000	0	0	448,000
消耗品費	800,000	800,000	0	0	800,000
会議費	1,700,000	1,700,000	0	0	1,700,000
印刷製本費	7,472,000	7,472,000	0	0	7,472,000
修繕費	30,000	30,000	0	0	30,000
賃借料	2,930,000	2,930,000	0	0	2,930,000
保険料	30,000	30,000	0	0	30,000
諸謝金	2,600,000	2,600,000	0	0	2,600,000
委託費	2,480,000	2,480,000	0	0	2,480,000
支払手数料	2,500,000	2,500,000	0	0	2,500,000
減価償却費	380,000	380,000	0	0	380,000
雑費	107,440	107,440	0	0	107,440

管理費	0	0	6,489,269	0	6,489,269
給与手当	0	0	734,000	0	734,000
賞与	0	0	127,000	0	127,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	1,100,000	0	1,100,000
福利厚生費	0	0	12,000	0	12,000
旅費交通費	0	0	560,000	0	560,000
消耗品費	0	0	170,000	0	170,000
会議費	0	0	2,000	0	2,000
減価償却費	0	0	42,000	0	42,000
修繕費	0	0	16,000	0	16,000
賃借料	0	0	270,269	0	270,269
保険料	0	0	3,000	0	3,000
租税公課	0	0	750,000	0	750,000
水道光熱費	0	0	300,000	0	300,000
支払手数料	0	0	864,000	0	864,000
支払報酬料	0	0	932,000	0	932,000
諸会費	0	0	515,000	0	515,000
減価償却費	0	0	42,000	0	42,000
雑費	0	0	50,000	0	50,000
經常費用計	35,046,440	35,046,440	6,489,269	0	41,535,709
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 10,745,040	△ 10,745,040	5,364,331	0	△ 5,380,709
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期經常増減額	△ 10,745,040	△ 10,745,040	5,364,331	0	△ 5,380,709

2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 10,745,040	△ 10,745,040	5,364,331	0	△ 5,380,709
当期一般正味財産増減額	△ 10,745,040	△ 10,745,040	5,364,331	0	△ 5,380,709
一般正味財産期首残高	7,647,543	7,647,543	68,827,886	0	76,475,429
一般正味財産期末残高	△ 3,097,497	△ 3,097,497	74,192,217	0	71,094,720
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	1,902,503	1,902,503	74,192,217	0	76,094,720